

< 運営推進会議における評価_様式例 > ※公表用

【事業所概要】

法人名	エフビー介護サービス株式会社	事業所名	看護小規模多機能 あったかほーむかまだ
所在地	(〒 390- 0837) 松本市鎌田 2 丁目 8 番 33-4		

【事業所の特徴、特に力を入れている点】

看護師と介護士で利用者様の情報を共有し、カンファレンス进行しながら、求められるサービスを提供している。
特に医療との連携は強化しており、退院前からカンファレンスに参加し、スムーズに自宅介護へ移行できるようにケアプラン作成をし、日々振り返り改善している。
また小規模の為利用者様一人一人に合わせて、よりきめ細やかなサービスが提供できる。

【自己評価の実施概要】

事業所自己評価 実施日	西暦 2024 年 11 月 15 日	従業者等自己評価 実施人数	(15) 人 ※管理者を含む
----------------	---------------------	------------------	------------------

【運営推進会議における評価の実施概要】

実施日	西暦 2024 年 12 月 17 日	出席人数 (合計)	(4) 人 ※自事業所職員を含む
出席者 (内訳)	☐ 自事業所職員 (1 人) ☐ 市町村職員 (人) ☐ 地域包括支援センター職員 (人) ☐ 地域住民の代表者 (1 人) ☐ 利用者 (人) ☐ 利用者の家族 (1 人) ☐ 知見を有する者 (1 人) ☐ その他 (人)		

■ 前回の改善計画の進捗評価

項目		前回の改善計画	実施した具体的な取組	進捗評価
Ⅰ. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)			朝礼で会社方針の読み合わせ 1 回/月の社内研修 (zoom) 急変時の対応マニュアル	理念にサービスすべてが盛り込まれていない。 研修もマンネリ化しており、自ら知識を求めている
Ⅱ. サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)		介護士・看護師合同でカンファ実施 利用者・ご家族と会話を持ち、現在の様子をお伝えしている。	利用者に対するアセスメントは共有されている。 在宅の方については自宅での様子が分からない
	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)		利用前に病院からのサマリーなど、回覧している。 退院前のカンファレンスに看護師が出席している。	看護師だけでなく、全職員が分かりやすいように説明し、手順書など作成する。
	3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画 (評価項目 32～41)		認知症カフェでの講演 他施設への運営推進会議への出席	管理者のみ参加している
Ⅲ. 結果評価 (評価項目 42～44)			利用開始時面談の上、それぞれの目標を設定 1 年で看取り 15 名いた	ご家族の思いを傾聴し、希望に添えるように提案し、見取りについてはご家族から感謝の言葉をいただいている。

※「前回の改善計画」および「実施した具体的な取組」は事業所が記入し、「進捗評価」は自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 今回の「評価結果」および「改善計画」

項目	評価結果	改善計画
I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)	朝礼で会社方針の読み合わせ 1 回/月の社内研修 (zoom) マンネリ化している 急変時の対応マニュアル	理念の見直しを行い看多機のサービスについて明記する。 本社の研修 1 回/月 (Zoom) を確実に受講できるよう業務に組み込む。 情報を随時更新する。
II. サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)	在宅の利用者についても自宅での様子を伺い、把握する。
	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)	利用者様によって緊急時の連絡方法・対処方法など朝会で発表し、共有する。
	3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画 (評価項目 32～41)	認知症カフェ・地域の行事への参加。 住民の方の相談を受けられるようにアナウンスする。
III. 結果評価 (評価項目 42～44)	利用開始時面談の上、それぞれの目標を設定 1 年で看取り 15 名いた	看取りの場合はご本人・ご家族の意向をよく聞き、希望をできるだけかなえられるようにサービス調整する。 振り返りも実践し、職員間で共有し、次回に活かす。 1 年で看取り 15 名

※自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します